

KOKA city assembly report

令和2年(2020)05:01

あなたとつなぐ

甲賀
こうが

市議会だより

vol.62



Contents

- 02 【特集】令和2年度予算
- 06 3月定例会議案審議
- 09 新型コロナウイルス感染症対策
- 10 常任委員会報告
- 13 特別委員会報告
- 14 代表質問
- 17 一般質問／市の考えを問う
- 23 組合議会報告
- 24 あなたとつなぐ・市議会議員紹介vol.8

オール甲賀で未来へつながる!

ステップアップ予算

令和2年度甲賀市一般会計当初予算は、総額394億3千万円。対前年度38億5千万円の減、率にして8・9%の減となっています。

3月12～18日までの5日間の予算決算常任委員会では付託された令和2年度一般会計予算について、各所管別に主要事業を中心に審査を行い、討論採決の結果、賛成多数で可決すべきものとなりました。所管別の主な質疑については、次のとおりです。

合併特例債事業が一段落

令和2年度一般会計当初予算では有利な財源を活用した合併特例債事業に一定の目途が付いた。

そのため、前年度比で大幅な減額。総括質疑では新たに導入される会計年度任用職員制度に伴う人

件費の変動、昨年の消費税増税に伴う地方消費税交付金の使

道などに質疑があった。

総務部所管

新たに導入された会計年度任用職員制度について、保育士や看護師の試算で平均月収が18万1324円から18万7915円に3・63%増、また平均年収217万5888円から257万2562円に18・23%増となることを確認した。

市民環境部所管

戸籍事務等窓口業務委託について指摘が集中。窓口の待ち時間短縮に民間業者のノウハウを活かす目的で委託したが、実際は待ち時間が長くなり、サービス低下になっており、委託契約の見直しが必要との指摘があった。これに対し、執行部より委託業者に待ち時間

集中審査 394.3億円

市民1人あたりにすると

43万5,013円



反対討論

税収1億円が実現しておらず行政運営効率化で3億円削減の成果がない。ふるさと納税も経費を差し引けば目標に達せず、そもそもこの寄附金を予算に計上すること自体が問題。業務委託による窓口業務の質も低下、必要などころに正規職員を配置すべきであり、給食費無償化、中学校卒業までの医療費無料化など住民に込める予算になっていない。

賛成多数で可決

賛成討論

オリンピック・パラリンピック、全国植樹祭、スカレットなどを活かす観光振興に大きく期待する。甲賀北工業団地の令和3年度完成に向けた進捗が図られ、ICT教育環境整備推進、骨髄移植ドナー制度拡充など未来の甲賀市にふないでいける予算編成であり、事業計画の確実な遂行を期待する。

令和2年度 一般会計予算



| | 令和2年度 | | 増減(前年比) | |
|--------|---------------|-----------|---------------|-----------|
| | 総額 | 1人当たり | 増減 | 1人当たり |
| 民生費 | 139億2,833万8千円 | 15万3,665円 | -2億4,348万7千円 | -2,131円 |
| 教育費 | 42億8,601万7千円 | 4万7,286円 | -31億9,905万8千円 | -3万5,000円 |
| 衛生費 | 34億3,715万2千円 | 3万7,920円 | -6,541万7千円 | -585円 |
| 総務費 | 53億6,126万1千円 | 5万9,148円 | +4億8,694万0千円 | +5,563円 |
| 土木費 | 41億6,160万3千円 | 4万5,913円 | -6億7,732万8千円 | -7,283円 |
| 農林水産業費 | 15億9,868万2千円 | 1万7,638円 | +9,258万9千円 | +1,080円 |
| 消防費 | 15億8,400万4千円 | 1万7,476円 | +4,503万6千円 | +557円 |
| 商工費 | 5億2,210万円 | 5,760円 | -5億0,956万3千円 | -5,581円 |
| 労働費 | 1億5,316万7千円 | 1,690円 | -2,334万3千円 | -251円 |
| 議会費 | 2億5,555万5千円 | 2,819円 | -423万4千円 | -37円 |
| 公債費 | 40億7,069万4千円 | 4万4,910円 | +2億2,844万2千円 | +2,671円 |
| 人口 | 9万641人 | | -323人 | |

解消の具体的な対策を再度強く指示したと答弁があった。

こども政策部所管

病児・病後児保育の予算が令和元年度に不執行となった点に指摘があり、執行部より事業に向けた最終調整が出来なかつたためとの説明があった。令和2年度当初予算には計上せず補正対応する旨答弁があった。

産業経済部所管

信楽伝統産業会館整備による旧建物について質疑があり、5月以降の管理事務費は土地使用料のみとなり、区からの提案もふまえてあり方を考えていた旨答弁があった。他、住宅リフォーム事業の減額、甲賀市の観光、有害鳥獣捕獲事業について質疑があった。

建設部所管

甲賀北工業団地の4区画中2区画について、大阪市北区の高圧ガス工業(株)及び此花区の(株)八百重と契約。

甲南駅周辺整備は、駅舎が令和元年度に完成、アクセス道路は3月24日供用開始。北口整備は令和5年完成を目標に進めている。

教育委員会所管

ICT教育に質疑が集中。令和5年度までに計画的に児童1人1台のタブレット整備、教職員のスキル向上のためICT指導員を委託で配置する旨を確認した。

新年度 予算 ポイント

「オール甲賀で未来につなぐ！ステップアップ予算」として、3つのテーマ「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」に基づき、さらに10のプロジェクト、80の主要事業で構成されています。

子育て・教育

ICT教育環境整備事業を中心として充実を図り、校務支援システム導入で保育・教育の質の向上や中学校を中心に不登校対策に取り組まれます。

生きる力・キャリア教育プロジェクト 2億9,089万9千円

ICT教育環境整備事業

ICTを活用した授業を推進し、土山小学校をモデル校に先進的な取り組みが開始されます。

不登校対策推進

不登校や不安、悩みを抱える子どもや保護者を支援するため、関係機関による協力体制が強化されます。

母語支援事業

外国籍の児童・生徒が日本語を学び、スムーズに学校生活を送るための支援。今までの伴谷小学校から水口保健センターに移転、通いやすくなります。

児童発達支援事業

作業療法士の追加により運動能力を上げ、生きる力を育む指導ができるようになります。また、児童発達支援センターを令和3年4月に甲南第一地域市民センターに設置し、発達の遅れや障がいと考えられる乳幼児と保護者への支援が強化されます。

子育て世代応援プロジェクト 2億6,236万2千円

ひとり親家庭等養育費等支援事業

養育費を受け取るため、法律相談費用や、公正証書作成費用、保証料などの支援をし、ひとり親家庭の生活の安定が図られます。

プレイパーク整備推進モデル事業

子どもを中心とした多世代交流を進めるため、区、自治会が管理する児童遊園等の遊具設置に補助が出されます。

防犯カメラ設置事業

犯罪抑止のため、市内の主要駅等に防犯カメラが設置されます。

保育の質向上プロジェクト 7億2,318万9千円

伴谷、水口東・岩上、甲南認定こども園整備事業

子どもたちにより良い保育・教育環境が提供されます。



地域経済

全国植樹祭やNHK連続テレビ小説「スカーレット」を契機として、地域経済全体へ波及効果をつなげ、東海道を中心とした街中のにぎわい再生や新たな交通網が整備されます。

シティセールス推進プロジェクト 1億7,439万8千円

全国植樹祭整備事業

開催に向け、「鹿深夢の森」の会場周辺等が整備されます。

新産業特区プロジェクト 2億9,426万円**貴生川駅周辺整備事業**

貴生川駅周辺を整備し「人口のダム機能」を高められます。

女性、若者の活躍・定住プロジェクト 1,509万8千円**創業支援事業**

起業支援や事業承継を進めるため、(仮称)甲賀ビジネスサポートセンターと連携し、中小企業支援に取り組まれます。

女性の活躍推進事業

ワーク・ライフ・バランスの推進や女性の資格取得を支援するとともに、高校におけるキャリア教育が検討されます。

**甲賀流観光振興プロジェクト 1億7,437万1千円****ロケーション推進事業**

「スカーレットで甲賀を盛り上げる推進協議会」と連携し、観光客の受入れやロケツーリズムに取り組まれます。

忍者を核とした観光拠点整備事業

観光インフォメーションセンター「甲賀流リアル忍者館」をオープンするとともに、周遊観光ルートが整備されます。

空きキャパシティ活用プロジェクト 14億9,855万1千円**甲南駅周辺整備事業**

駅前広場の整備を進め、甲南駅北1号線の用地取得等に取り組まれます。

公共施設の規制緩和

市内全図書館に学習スペースを新設し飲食も可能になります。また公民館使用ルールの一により、施設の利便性の向上が図られます。

福祉・介護

健康寿命を伸ばす事業の拡大や地域全体での見守り・支えあいの推進が図られます。また、地域包括支援センター委託事業、地域医療の最適化に取り組まれます。

中山間地域再生プロジェクト 4億4,347万6千円**コミバス、コミタク**

75歳以上の高齢者及び障がい者3級以上の方に無料乗車券が交付されます。バス路線を使いやすい運行体系に再編するとともに、コミタクの予約方法を見直し、待ち時間の短縮が図られます。

地域・世代まるごと包括ケアプロジェクト 7億2,515万8千円**100歳大学事業**

老いの生き方の基礎、基本を体系的に学び、「アクティブシニア」の育成が図られます。

健康診査事業

新たに胃がん検診として、胃内視鏡検査が加わります。

犯罪被害者等相談支援事業

犯罪被害者等に寄り添った支援が充実されます。

骨髄移植ドナー支援事業

ドナー本人への助成に加え、ドナーが勤務する事業所への支援が開始されます。



3月定例会議案審議

新年度予算案を中心に審査する3月定例会は、2月18日から3月25日まで開かれました。新型コロナウイルス感染症拡大が心配される中、議会日程を少し調整しながら、執行部から提出された報告2件、新年度予算10件、人事2件、条例改正11件、補正予算4件、その他（財産無償貸付1件、指定管理1件、市道の廃止と認定2件、契約1件、退職手当組合1件）と議員提案の条例改正1件、意見書案5件、請願2件について、慎重に審議しました。「ピックアップ」では、賛否の分れた議案や質疑の多かった議案の本会議・委員会質疑と討論の骨子を紹介します。

PICK UP 1

国民健康保険特別会計予算

歳入歳出予算を85億7900万円と定めるもの。

主な質疑

Q 県が示した一人当たり標準保険料・納付金は

A 13万9281円、11月の仮算定と比べて5294円減。令和元年度確定計数と比べると2837円減。納付金も前年度確定時と比べて1億1934万5169円の減。

Q 医療費の伸び4%の根拠は

A 過去三年間の平均2.2%と昨年9月診療分までの伸び4.56%を参考に設定。

反対討論

都道府県単位化で国保の構造的危機は打開できない。むしろ加入者負担増となる。打開のためには国の一兆円規模の財政支援が必

要。子どもに係る均等割は見直し軽減すべき。

賛成討論

病气やケガの時に安心して医療が受けられるよう加入者がそれぞれ収入額に応じて保険料を負担し、医療費などにあてる制度。歳入歳出85億7900万円が計上され、加入者1万8千人の医療を支

PICK UP 2

後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出予算総額を20億5500万円と定めるもの。

主な質疑

Q 令和2年・3年の保険料引き上げ幅は、負担増は

A 所得割率8.26%が8.70%に、均等割額4万3727円が4万5512円に。一人当たり平

えている。加入者の減少が続いているが、高齢化や医療の高度化が進むにつれ、一人当たりの医療費が高額になり厳しい運営状況に変わりがない。平成30年からの県との役割分担の中で、保険税の収納率向上にさらなる努力を願いたい。

採決 賛成多数にて可決

均5364円の増。

Q 健診事業費の変化と対象人数は

A 前年実績を考慮し1800人、受診率50%で試算。

反対討論

75歳以上という年齢で区切り、差別医療を押しつける制度そのものに反対。制度発足当初から指摘したように保険料は二年に一度引き上げ、軽減割合も削られ負担増となっている。そのうえに窓口負

担が引き上げられようとしている。

賛成討論

高齢者は増えていく一方で、厳しい状況である。しかしこの制度は高齢者にとつてなくてはならないものである。保険料についても厳しい状況であるが、これを持ち切り進めていくしかない。

採決 賛成多数にて可決

その他の議案（全員賛成で可決）

人事

◆ 教育委員会教育長

西村文一氏（甲南町寺庄在住）

◆ 人権擁護委員

小川浩美氏（甲賀町隠岐在住）

市道の廃止

◆ 水口・坊山4号線

市道の認定

◆ 水口・坊山4号／5号／6号／

7号線、中山谷瀬々流1号／

2号／3号／4号線

契約

◆ 城山中学校大規模改造（1期）

株式会社フジサワ建設

5億7970万円（税込み）

指定管理

◆ 甲賀市生産物直売・食材供給施設「田代高原の郷」：非公募で有限会社秀明ナチュラルファームに指定管理（3年間）

3月定例会議案審議

PICK UP 3 財産の無償貸付けにつき議決を求める

旧山内小学校の跡地活用について事業提案公募型プロポーザルで最優秀提案事業者選定された「株式会社ウイルステージ」に10年間、無償で貸し付けることについて、地方自治法第96条1項第6号に基づき、議会が議決するもの。

株式会社ウイルステージ（草津市）が、施設を利用して、フグ等の陸上養殖を行う。あわせて市は初期投資に係る財政支援（4450万円）を行う。



旧山内小学校

主な質疑

Q 同社を最優秀提案事業者に選定した理由は

A 事業に独自性があり地域活性化への意欲が高い点、市に負担を求める額が少ない点を評価。

Q 無償貸付とした理由は

A 施設の老朽化や敷地面積、立地

場所等を総合的に検証、「審査委員会」の結果をふまえて市場価値が低いと判断。

Q 地域とのかかわり、地元雇用は

A 山内自治振興会や地域の企業との連携を希望。数名の従業員とパートを地元で雇用。

Q 旧山内小学校は、災害時の避難場所になっているが

国・県等補助採択に伴う事業のほか、決算見込みにより、6億4746万3千円を減額するもの。

主な質疑

Q 中山間地域再生プロジェクト事業4450万円。国の地方創生拠点整備交付金事業は補助率2分の

A 指定避難所については他の公共施設を確保する予定。それまでは、有事の際の指定避難所として使用できるように事業者と調整。

Q 魚の養殖により匂いや水漏れなど環境への影響はないか

A 水は外へ流さない予定であり、匂いも漏れない。

Q 土地の境界確認は

A 今後事業者と調整する。

Q 事業規模と採算は

A 事業開始から5年目で累積赤字を克服して利益を生む計画。

Q 施設の修繕等の負担は

使用貸借契約書に「日常の使用にかかる保全・修繕に要する経費は借受人」災害や老朽化等による場合は、貸付人の負担と明記。

Q 地域振興の役割は

A 地元特産品の開発、地元雇用。

採決 全員賛成にて可決

PICK UP 4 令和元年度一般会計補正予算（第5号）

1、交付先は地方公共団体、地域再生計画が必要だが。

A 内閣府から地域再生計画の認定が必要になるため現時点は案とし

て作成中。交付先については国との調整で認められている。

Q 病児保育が減額された理由は

A 市内医療機関と早期実現にむけて調整してきたが、最終の決定までには至らなかった。来年度早期実現できるよう進めていく。

Q 全国植樹祭整備事業で広域農道舗装修繕1千万円の場所と延長は。

A 甲賀町烏居野から田堵野までの間、710m。あわせて区画線を補修。

Q 新型コロナウイルス対策は

A 予備費（約2300万円）で対応。

採決 全員賛成にて可決

令和元年度補正予算（第5号）主なもの

| | |
|------------------|-----------|
| 中山間地域プロジェクト | 4,450万円 |
| 個人番号カード交付事業 | 1,266万7千円 |
| 全国植樹祭整備事業 | 2,000万円 |
| 信楽高原鐵道安全施設整備事業 | 4,420万円 |
| 交通安全施設整備事業 | 420万円 |
| I C T教育環境整備事業(小) | 8,468万円 |
| I C T教育環境整備事業(中) | 4,696万円 |

3月定例会議案審議・意見書

議案の審議結果

議案の審議結果

| 全員賛成で可決した議案 | |
|---------------|---|
| 令和2年度 予算 | 野洲川基幹水利施設管理事業特別会計予算 |
| | 病院事業会計予算 |
| | 診療所事業会計予算 |
| | 介護老人保健施設事業会計予算 |
| | 水道事業会計予算 |
| | 下水道事業会計予算 |
| | 一般会計補正予算(第5号) |
| 令和元年度 補正予算 | 国民健康保険特別会計補正予算(第3号) |
| | 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) |
| | 野洲川基幹水利施設管理事業特別会計補正予算(第1号) |
| 人事 | 人権擁護委員の推薦 |
| | 教育委員会教育長の任命 |
| 条例の 一部改正 | 監査委員条例等 |
| | 附属機関設置条例 |
| | 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例 |
| | 非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例 |

| | |
|-------------|---|
| 条例の 一部改正 | 手数料条例 |
| | 印鑑条例 |
| | 災害弔慰金支給等条例 |
| | 犯罪被害者等支援条例 |
| | 地域総合センター条例 |
| | 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例 |
| その他 | 健康診査受診料徴収条例 |
| | 財産の無償貸付け(旧山内小学校) |
| | 指定管理者の指定(田代高原の郷) |
| | 市道路線の廃止(水口町水口地先) |
| | 市道路線の認定(水口町水口地先、甲賀町鳥居野地先) |
| | 契約の締結(城山中学校大規模改造工事) |
| | 滋賀県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少および滋賀県市町村職員退職手当組合規約の変更 |

| 賛成多数で可決した議案 | |
|-------------|---------------|
| 令和2年度 予算 | 一般会計予算 |
| | 国民健康保険特別会計予算 |
| | 後期高齢者医療特別会計予算 |
| | 介護保険特別会計予算 |

意見書・請願 議決結果

○：賛成 ●：反対

| 議案等の名称 | 提案者 | 討論 | | 凧風会 | | | | | | | 志誠会 | | | | | 日本共産党 甲賀市議員団 | | 公明党 甲賀市議員団 | | | 結果 | | | | | | |
|---|---|-----|----|-----|---|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----------------|----|---------------|----|----|----|----|----|-----|---|----|-----|
| | | 反対 | 賛成 | 橋本律 | 辻 | 土山 | 田中新 | 谷永 | 橋本恒 | 山中善 | 林田 | 田中喜 | 森田 | 小河 | 戎脇 | 山中修 | 里見 | 糸目 | 山岡 | 小西 | | 岡田 | 白坂 | 田中將 | 堀 | 鶏飼 | 竹若 |
| 「マクロ経済スライド」廃止の意見書を求める請願書 | 全日本年金者組合 甲賀支部支部長 大原盾夫、 同書記長 谷悦男 | 堀 | 岡田 | ● | ● | ● | ● | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | 不採択 |
| 補聴器購入助成制度を定める請願書 | 全日本年金者組合 甲賀支部支部長 大原盾夫、甲賀市生 活と健康を守る会 会長 小泉健三 | 山中善 | 岡田 | ● | ● | ● | ● | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | 不採択 |
| カジノ汚職の徹底説明、カジノ解禁の廃止を求める意見書 | 小西 | 辻 | 山岡 | ● | ● | ● | ● | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | 否 |
| 「全世代型社会保障検討会議」の中間報告を見直し社会保障制度の抜本的な拡充を求める意見書 | 岡田 | 白坂 | 小西 | ● | ● | ● | ● | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | 否 |
| ジェンダー平等社会の実現をめざす関係法令の整備を求める意見書 | 山岡 | 糸目 | 岡田 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 新たな過疎対策法の制定に関する意見書 | 田中將 | — | — | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書 | 堀 | — | — | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |

議長のため採決に加わらない

新型コロナウイルス 感染症対策

新型コロナウイルス感染症が拡大しており、国民生活や経済に大きな影響を与えています。国では緊急事態宣言を行い、感染拡大を防いでいます。3月には滋賀県でも初めて感染者が発生するとともに、4月に入り甲賀市でも感染者が確認されました。

甲賀市では

甲賀市では対策本部を設置しその対応にあたっていますが、学校については3月2日から3月24日までの間、市立小中学校を休業するとともに、放課後児童クラブについても同期間、休所しました。その後、新学期も4月8日から引き続き臨時休業となりました。なお、卒業式および入学式は規模を縮小して行われたところです。その他にも市主催事業やイベントの中止、公共施設の使用制限など、感染拡大防止に向けた取り組みが行われています。

感染症対策経費

新年度予算には新型コロナウイルス

感染症対策の予算が計上されていますが、令和元年度の必要な経費については予備費で対応され、新年度は補正予算等も含め早急な対応が必要です。

感染予防について

感染予防はうがい、手洗いの励行や咳エチケットの徹底と共に、「密」を避けるよう、市民の皆様のご協力をよろしく願います。



本会議開始時間が 変わります

10:00
→ 9:30

次期議会から本会議の開始時間が30分早くなり9時30分開会となります。開会時間を早めることにより議論の時間を確保することが目的で、3月議会での議員発議の会議規則一部改正によるものです。

本会議および委員会の 傍聴はご遠慮ください

甲賀市議会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、当面の間、本会議および委員会の傍聴を中止させていただきます。

なお、本会議につきましてはあいコムこうかとインターネットで中継を行っておりますのでぜひご覧いただけますようお願いいたします。

議会報告会の中止について

甲賀市議会では開かれた議会を目指し議会基本条例に基づき議会報告会を実施しており、今年も7月に開催する予定で準備を進めていました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大傾向が想定される中、議会報告会開催を中止させていただきますことになりました。

市民の皆様には、感染拡大防止の観点から、ご理解いただきますようお願いいたします。

常任委員会

総務常任委員会

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に
関わる委員会です。

3月11日に委員会を開催し、付託された条例改正2件、財産の無償貸付け議決1件、市町村職員退職手当組合規約の一部改正1件の計4件の議案審査をし、いずれも可決すべきものと決定しました。

付託議案

監査委員条例等の一部改正

地方自治法等の一部改正に伴い、法文に条項ずれが生じたため、関係条文を引用する監査委員条例、水道事業設置等に関する条例、病院事業設置等に関する条例、水口医療介護センター条例、下水道事業等に関する条例計5条例のそれぞれに、改正を行うものです。

※注

地方自治法243条の2の2第8項：会計管理者若しくは会計管理者の事務を補助する職員の賠償責任を定めにより免除する条項です。

非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の公布により、令和2年度から会計年度任用職員制度が創設されことに伴い、

従来の報酬から給料として支給対象となる会計年度任用職員の公務災害等について必要な改正を行うものです。

主な質疑

会計年度任用職員の労働災害と公務災害の区分、雇用保険との関係、非正規職員の公務災害の事例、災害補償の適用認定について確認しました。

滋賀県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少および滋賀県市町村退職手当組合規約の変更

滋賀県市町村交通共済組合が、令和2年3月31日をもって解散することに伴い、滋賀県市町村職員退職手当組合から脱退することから同組合規約から削除するものです。

財産の無償貸付けにつき議決を求めること

7ページに掲載。

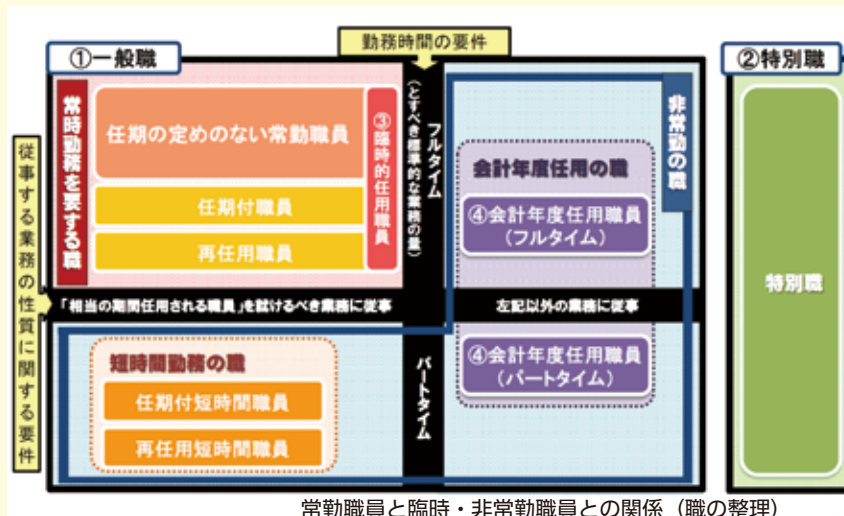


会計年度任用職員とは

2017年(平成29年)、地方公務員法と地方自治法が改正され、2020年(令和2年)4月から自治体の臨時・非常勤職員等に適正な任用・勤務条件を確保するため「会計年度任用職員」制度が導入されました。会計年度任用職員は、フルタイムと短時間勤務に分類され、フルタイムの職員には給料と手当が支払われ、継続して採用されると昇給も可能になります。また、期末手当や地域手当も支払われます。

短時間勤務の職員もこれまでと同様に報酬と費用弁償となりますが、期末手当の支払いも可能になります。

災害補償は勤務状態で、地方公務員災害補償基金や労働者災害補償制度に加入し補償されます。また、会計年度任用職員には地方公務員法の服務に関する規定が適用されます。



常勤職員と臨時・非常勤職員との関係 (職の整理)

常任委員会

厚生文教常任委員会

市民の生活と福祉、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

3月10日に委員会を開催し、付託された特別会計予算案、企業会計予算案8件、条例一部改正9件、契約締結1件の18議案と請願2件について審査を行いました。

請願

市民団体から2件の請願が提出されました。請願者を招へいし、請願の説明を受け質疑を行った後、委員間討議・討論を行いました。

「マクロ経済スライド」廃止の意見書を求める請願書

マクロ経済スライド発動により、令和2年度の年金支給額は実質0.3%減となる。年金削減は高齢者の生活を破壊する。制度は今後30年間年金が減る仕組み。高齢者も若者も安心できる年金制度が必要であり、意見書の提出を求めるもの。

反対討論

マクロ経済スライドは、現役世代の負担を軽減、年金制度を維持するもの。

賛成討論

- 年金削減は高齢者の生活に深刻な事態をもたらすもの。
- 年金生活者の実態を知るべき。命に関わる問題。

補聴器購入助成制度を求める請願書

加齢性難聴に悩む人が増えている。難聴は引きこもりや認知症の誘因となる。補聴器使用により重度化を防ぐことができるが、補聴器は高価であることから、補聴器購入助成制度を求める意見書の提出を求めるもの。

反対討論

願意は賛成だが、請願書の「消費税増税」には対策があり文言は不必要。

賛成討論

- 国でも研究が進められている。今しばらくの猶予が必要。
 - 高齢者の社会参加や雇用が求められる。公的補助は必要。
 - 市民が困っておられることを支援していくのが議員の姿勢。
- 採決** 2件の請願は、賛成少数で不採択となりました。

付託議案

- ◆国民健康保険特別会計予算
- ◆後期高齢者医療特別会計予算
- 6ページに掲載。
- ◆介護保険特別会計予算

反対討論

特養待機者も多数。必要なサービスが受けられない状況にある。

賛成討論

介護を社会全体で支え合う仕組みとしてなくてはならない制度。

採決 以上3件、賛成多数にて可決すべきものと決定しました。

現地調査

2月10日に委員会を開催し、甲南そまっこ第2児童クラブ、西部学校給食センター新築工事、水口小学校大規模改造(2期)工事について現地調査を行いました。



新築された甲南そまっこ第2児童クラブ



西部学校給食センターの内部

- ◆病院事業会計予算
- ◆診療所事業会計予算
- ◆介護老人保健施設事業会計予算
- ◆令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- ◆令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- ◆契約締結
- ◆付属機関設置条例の一部改正
- ◆その他条例一部改正8件
- 採決** 以上15件、全員賛成にて可決すべきものと決定しました。

常任委員会

産業建設常任委員会

産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境に関わる委員会です。

1月22日の所管事務調査では、現在整備中の工事現場視察3ヶ所と、NHK連続テレビ小説スカレットに関する施設2ヶ所を視察しました。また3月11日開催の委員会では、3月定例会に付託された予算案3件、補正予算1件、指定管理案件1件、市道路線案件2件の議案について慎重に審査しました。

所管事務調査

水口町宮の前

中央水幹線函渠

大雨時の洪水対策のため、近江鉄道(株)への委託協定事業として宮の前地先に111mの地下水路設置工事が進められています。

この水路はオープンシルド工法が採用され、ボックスカルバート



ボックスカルバートが埋設される様子

トを1日あたり3〜4つ程度のペースで連結されています。市内の水害リスク低減効果に期待が寄せられます。なお工事は令和2年6月の完成予定です。

市道新町・貴生川幹線

内貴橋架け替え工事

老朽化した内貴橋の架け替え工事が平成30年度より進められています。野洲川の流れを良くするた



建設途中の新内貴橋橋脚

め、強度を維持しつつ橋脚が現在の10基から4基になり、平成30年度は4基の内2基、現在残り2基と橋台1基が施工されています。橋脚の鉄筋コンクリート打設工程を視察しました。橋全体の工事完了は令和5年度末の見込みです。

新信楽伝統産業会館

4月28日供用開始の新信楽伝統会館の建設工事現場を視察しました。信楽焼の魅力や歴史を効果的に見せるスペースが造られており、利用者がイベント等に使える展示スペースもあります。今後、信楽焼の発信拠点としての期待が高まります。



建設が進む新信楽伝統産業会館内部

スカレット展

昨年9月30日から本年3月28日まで放送のNHK連続テレビ小説スカレットに関する衣装や焼き物が展示されたスカレット展が旧信楽伝統産業会館で開催されました。この効果により、昨年1月に1108人だった来場者数が1月で1万4647人、2月で2万1400人に達し、スカレット効果の大きさを物語っています。残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大予防のため2月29日〜3月28日の間休館となり終了しました。



スカレット展の様子

特別委員会報告

議会改革推進特別委員会

議会改革推進特別委員会の委員長は副議長があたることになっており、11月から小河文人副議長に交代となりました。委員会は12月24日、1月14日、4月8日に開催し、議員間討議、議会業務継続計画（BCP）、議会改革ロードマップ等について協議しました。

議員間討議

議員間討議については以前から継続してその導入について検討されていますが、委員会では実施要綱（案）を作成、本格的な導入を目指しています。実施要綱は議会運営委員会で決定され、6月議会から実施することになっています。

議会業務継続計画「BCP」

議会BCPは議会及び議員の大規模災害時における役割や行動方針を明らかにすることにより、迅速な議会機能の回復を図り、市民ニーズを的確に反映した復旧、復興に早期に取り組むことを目的としています。議会BCPについても議会運営委員会で決定、本格的に運用されることになりました。

※BCP=Business Continuity Plan

議会改革ロードマップ

以前の議会改革ロードマップについて確認しました。ロードマップは9月末を目途に取り組んでいく予定です。

| 令和元年度 | | | | 令和2年度 | |
|--------------------|------|----------|------------------|-------------|------|
| 4～6月 | 7～9月 | 10月～12月 | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 |
| 議員間討議の検討・試行 | | | | 9月定例会 委員長報告 | |
| | | | 議決事件の検討 | | |
| | | | 議会BCP（業務継続計画）の策定 | | |
| 龍谷大学とのパートナーシップ協定締結 | | | 広報広聴のあり方検討 | | |
| タブレット検証 | | 議会報告会の検討 | | | |
| 議会基本条例の検証 | | | | | |

甲賀市議会 議会改革ロードマップ

広報特別委員会

広報特別委員会では毎年多くの視察研修を受け入れていきます。視察では甲賀市議会だよりの取り組みについて報告するとともに、受け入れた議会の取り組みも市議会だよりに活かしています。昨年から受け入れ状況は次の通りです。

- 平成31年4月24日
袖ヶ浦市議会広報特別委員会
- 令和元年7月26日
能美市議会広報特別委員会
- 令和元年8月9日
飯能市議会広報委員会
- 令和元年8月26日
磐田市議会広報広聴委員会
- 令和元年10月17日
始良市議会広報広聴特別委員会
- 令和元年10月24日
天草市議会広報広聴委員会
- 令和2年1月29日
和歌山市議会広報委員会
- 京田辺市議会広報編集特別委員会
- 令和2年2月6日
佐伯市議会広報委員会

滋賀県市議会議長会 広報広聴活動についての研究会 からの報告書提出される

滋賀県市議会議長会では昨年、「広報・広聴活動についての研究会」が発足され、令和元年5月22日に第1回の研究会を開催、5日に渡る研究会の結果、2月3日に研究会の座長である林田久充前甲賀市議会議長から県議長会へ報告書が提出されました。

甲賀市議会からは研究会に当時の広報特別委員長の田中将之議員が参加、広報・広聴のあり方について意見交換が行われました。

甲賀市議会でもこの報告書を参考に広報・広聴のあり方について今後研究を深めるとともに、市議会だよりの充実につなげていきます。



研究会で発表する田中前委員長

各会派による 代表質問

目次

令和2年2月27日

令和2年 第1回甲賀市議会定例会代表質問

| 順番 | 氏名 (会派名) | 質問事項 |
|----|---------------------------------------|---|
| 1 | もり た ひさ お 森 田 久 生 (志 誠 会) | <ol style="list-style-type: none"> 1 市長公約「政策集」の総括と、市長任期最終年度の政治姿勢(政治スタンス)について 2 当市の最重要課題である「人口減少対策」と「これからのまちづくり」について 3 老朽化が進む公共施設・公共インフラ等の維持管理と「甲賀市公共施設等総合管理計画」について 4 「甲賀市幼保・小中学校再編計画」の進捗と今後の展望について 5 当市の観光振興について 6 「令和2年度の予算編成方針」について 7 「令和2年度(新年度)一般会計予算案」について 8 山下教育長の3月末での急遽の辞任について 9 岩永市長市政運営2期目に向けての意気込みについて |
| 2 | はやし た ひさ みつ 林 田 久 充 (凜 風 会) | <ol style="list-style-type: none"> 1 「コンプライアンス」の徹底と望ましい行政の姿とはどのようなものか。 2 市民や議会との関係についての基本的な考えを問う。 3 「オール甲賀」の持つ意味、考え方についてあらためて聞く。 4 財政健全化に関する考え方について 5 甲賀市まちづくり基本条例の考え方について 6 行政と自治振興会のこれからの関係について。 7 人口ビジョンの見通しについて 8 甲賀市の都市計画の現状と住宅政策の考え方について 9 甲賀市総合計画実施計画等の考え方を問う。 10 名神名阪連絡道路の進捗について 11 産業振興策について 12 令和2年度予算案等について 13 立命館大学等大学と地域の連携の手ごたえはどうか 14 あらためて市長選挙公約や所信表明から見た成果はどうか |
| 3 | おか た しげ み 岡 田 重 美 (日本共産党甲賀市議員団) | <ol style="list-style-type: none"> 1 国政の焦点と市民のいのち・暮らしに関わる問題について 2 「4年で結果を出す」とされた、岩永市政4年の評価と課題について 3 新年度予算案について |
| 4 | ほり いく こ 堀 郁 子 (公明党甲賀市議員団) | <ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス対策について 2 気候変動への対策について 3 子育て・教育支援について 4 高齢者支援について 5 観光について |

■ 答弁者の凡例

| | | | | | |
|--------|------|---------|-------|------------|-------|
| 総合政策部長 | 総政部長 | 選挙管理委員長 | 選管委員長 | 危機・安全管理統括監 | 危機統括監 |
| 産業経済部長 | 産経部長 | 市民環境部長 | 市環部長 | 健康福祉部長 | 健福部長 |
| | | こども政策部長 | こ政部長 | 農業委員会事務局長 | 農委局長 |

公職選挙法メモ

議員は選挙区内に病気見舞金を出すことが禁止されています。



代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

志誠会
森田 久生

岩永市長、
2期目に向けた考えは



凜風会
林田 久充

コンプライアンスと
望む行政の姿



今回の代表質問は、①市長政策集の総括と市長任期最終年度の政治姿勢、②人口減少対策とこれからのまちづくり、③老朽化が進む公共施設等の維持管理、④幼保・小中学校再編計画の進捗と今後の展望、⑤当市の観光振興、⑥新年度の予算編成方針、⑦新年度一般会計予算案、⑧山下教育長の3月末での急遽辞任、⑨岩永市長市政運営2期目に向けての9項目について質問しました。

Q市長公約の総括と進捗状況は。

市長 就任して三年余り、オール甲賀で取り組み、全項目に着手できた。特に合併特例債を有効活用し、子育てや教育環境の整備に力を入れた。

Q危機的な状況にある公共施設・公共インフラの維持管理の認識は。

市長 施設老朽化の維持管理は、次世代に負担を残す深刻な問題と認識。教育・子育て・福祉など未来投資のためにも、強い信念で

公共施設の最適化を着実に進めていく。

Q新年度予算の特色と、市長が特に力を入れようとしている施策は。

市長 人口減少に果敢に立ち向かう予算としている。特に、ICTの積極活用や、より充実した子育て環境整備、産業振興に重点を置く。



産業振興基盤の拡充（雇用促進）を目指し、着々と工事が進む「甲賀北工業団地」

Q岩永市長の市政運営2期目に向けた意気込みは。

市長 道半ばの「第2次甲賀市総合計画」を軌道に乗せ、甲賀市発展のため、今後も全力で取り組むたい。

Q市民の知る権利と行政の知らせる内容の基本姿勢について。

市長 市が提供する情報と、市民の皆さん等が望まれる情報に齟齬が生じないよう一層の説明責任を果たし、積極的に情報の公開に努める。

Q市民が求める職員像とは。

市長 安易に無理と判断するのではなく、どうすればできるかを考えられる姿勢を身につけた職員で「高い専門知識や能力」「法律を適切に運用できる能力」「住民目線で業務に取り組む能力」を持ち、自らの能力や行動を冷静に客観視できる職員が期待されている。

Q市役所にはどのような役割が期待されていると考えるか。

市長 悩み事や困りごとに迅速かつ的確に市民に寄り添う対応や、長期的な視点で市政運営を推進することなどを期待されている。

Q当市民との関係についての基本認識は。

市長 「対話」を積み重ね、課題を明確にしたうえで政策立案につながるよう職員に指示している。

市長就任から三年余。現在の市長の市政運営の姿勢を再確認し、その他に財政健全化、自治振興会、人口ビジョンの見直し、都市計画の現状と住宅政策、産業振興策、令和2年度予算案、大学等との連携、名神名阪連絡道路の進捗等を質問した。



開票事務不正調査特別委員会の報告書を市長にも報告



代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

共産党 岡田 重美

気候変動に対し 抜本的な対策を



◎安倍政権のもとでの政治腐敗による政治離れがある。市民の積極的な政治参加を促進するには。

◎市長 市政の情報提供、市民の切実な声を聞く場を設ける等の取り組みを通じ、市政に関心を持っていたり、政治参加につながる。

◎地球規模の気候変動に対する抜本的な防災・減災対策を。

◎市長 市民の防災意識の向上、関係機関との連携強化、また中山間地域を中心に土砂災害特別警戒区域等のパトロールに取り組む。

◎市長公約の「人口10万都市」と今後の人口ビジョンの認識を問う。

◎市長 国の人口推計から、令和10年度に8万7000人とした。本市は様々な資源や人の力を活かし、人口減少に立ち向かえる地域と考える。

◎市長選時、「合併特例債といえど借金」と強調されたが、就任後は合併特例債事業が集中してい

る。建設数と合併特例債総額は。

◎市長 公共建築物は27件、活用した合併特例債は141億円。

◎消防団の今後のあり方を問う。

◎市長 消防団を補完する消防団支援団員設置の検討、班の統合や地域にあった組織再編も見据え消防団員の確保に努めていきたい。

◎市小中学校の給食費の負担軽減・無償化に向けた取り組みを。

◎教育部長 食育推進のため地産地消事業として2000万円を計上する。無償化の財源捻出は難しい。



甲賀市防災訓練

公明党 堀 郁子

500円で中学卒業 まで医療費無料に



◎中学卒業までの医療費をワンコイン500円を払えば後は無料にしてどうか。防犯カメラの設置場所、市民の望む所に設置できるのか伺う。給食費を第3子以降、無料にしては。残食を減らす取り組みについて、不登校対策について伺う。

◎市長 医療費無料は受給者に一部負担を含めた制度の検討が必要。

◎副市長 防犯カメラは甲賀駅、甲南駅、水口城南駅、水口駅、信楽駅周辺、貴生川駅及び綾野地域に更新予定。今後市民の望む箇所に設置検討。

◎教育長 第3子以降の給食費は学校教育支援事業を優先にする。無料の場合の予算は月200万円、年間2500万円。残食を減らすには感謝の心を育てる食育の取り組みを進める。不登校対策は調査、データ分析し問題の原因に適合した取り組みをする。



◎高齢者支援の新サポカー補助金制度の周知、助成金制度について伺う。

◎市環次長 周知はHPや広報紙、出前講座で図り、助成金は必要性検討。

◎甲賀流観光プロジェクトを伺う。また、公衆トイレの水洗化、洋式化は。インバウンドの言語対応は。

◎産経部長 スカレットのスタジオセット等の展示を検討し今年7月「甲賀流リアル忍者館」開館で周遊型観光促進。トイレは、利用頻度や緊急度の必要性検討し老朽化、安全性も考慮し順次整備を進める。言語はスマホのQRコードで対応。

15人の 議員が 市の考えを問う

令和2年
3月5日・6日・9日

目次

令和2年 第1回甲賀市議会定例会一般質問（通告順）

| 順番 | 氏名 | 質問事項 | 順番 | 氏名 | 質問事項 |
|----|-----------------|--|----|------------------|--|
| 1 | えびすわき 戒脇 ひろし 浩 | 1 地域カルテの現状と活用について 2 「オール甲賀」の意識形成に向けて | 8 | つちやま 土山 きたのぶ 定信 | 1 南海トラフ地震対策について |
| 2 | たなか 田中 よしかつ 喜克 | 1 水口東保育園と岩上保育園の統合施設園の建設予定地を洪水被災危険性の高い地で建設することについて 2 独立行政法人・公立甲賀病院と甲賀市営医療各機関・病院の経営統合は出来ないか、について 3 甲賀市公共施設の最適化計画の推進に市内公共交通機関の積極的利活用で推進に弾みをについて 4 貴生川駅周辺整備・特区構想、目標年次の繰り上げと急ぎ整備推進を。について | 9 | やまなか 山中 しゅうへい 修平 | 1 野洲川水系ダムの洪水調節機能について 2 (仮称)水口北内貫線の整備促進について |
| 3 | しらかま 白坂 万里子 子 | 1 防災対策のさらなる強化へ 2 より利便性の高い公共交通へ | 10 | はしもと 橋本 りつこ 律子 | 1 わが市の防災活動体制の今後について 2 超高齢化社会への取り組み強化を |
| 4 | いとめ 糸目 まさき 仁樹 | 1 目指すべき外国自治体との交流について問う 2 甲賀市で自動運転バス導入前提の実証実験実現を | 11 | さとみ 里見 あつし 淳 | 1 学校におけるICT活用について 2 スカーレット効果と信楽高原鐵道の今後について |
| 5 | やまなか 山中 よしはる 善治 | 1 市民農園等について（農園施設整備支援事業補助といきいき農園利用料補助） 2 新型コロナウイルスの対策に関連してシビックプライドを問う。 | 12 | たなか 田中 まさゆき 將之 | 1 甲賀市の公園緑地・街路樹の維持管理について 2 地域を守る建設土木工事の担い手を育てる公共工事の平準化について 3 SDGsを政策に反映させよう |
| 6 | やまおか 山岡 みつひろ 光広 | 1 公文書管理のあり方について 2 アレルギー対応給食の実施について 3 甲賀市市営住宅長寿命化計画について 4 精神障がい者に対する医療費助成制度の拡充について 5 新名神甲南インターとパーキングとの接続、流出・流入路について | 13 | こにしき 小西 喜代次 次 | 1 市営住宅の入居条件から保証人の削除を 2 水道は広域化・民営化でなく公営事業として維持管理を 3 税・料金の滞納対策について 4 信楽町の勅旨西恩寺橋の早期改善を |
| 7 | たなか 田中 あらと 新人 | 1 スマート農業について 2 柏木公民館老朽対策について 3 新型コロナウイルス感染症対策について | 14 | たけわか 竹若 しげくに 茂國 | 1 子どもの権利と養育費及び面会交流について 2 学校給食で残る牛乳、パンの取り扱いについて |
| | | | 15 | はしもと 橋本 ひさのり 恒典 | 1 地域に根差したより良い保育・教育環境を目指して 2 日本遺産を活かした観光振興について 3 JR草津線の利便性向上に向けて |

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



戒脇 浩



Q 地域カルテの現状と活用について
A 地域ごとの課題把握に努める

平成30年度に自治振興会単位で地域カルテが整備されたが、あまり市民の目にふれていない。現状はどのようになっているか。

総政部長 地域カルテは地域ごとの人口推計や産業、介護、公共施設などのデータを基に作成し、各市民センターで公開し、閲覧可能である。

Q カルテは基礎的な分析資料であり、そこから見える課題の抽出が重要であると考え。また、自治振興会の事業計画立案時に利用すべきと考えるが、どうか。

総政部長 未だ地域課題そのものを記載したものにはなっていない。現在データから見える課題の洗い出しを進めている。そのため一部の振興会を除き利用には至っていない。
Q いつ頃までに課題を記したものに仕上げるのか。

総政部長 地域差はあるが、来年度中頃には公開できると考えている。



現在作成、公開されている地域カルテ



田中 喜克



Q 貴生川駅周辺整備急ぎ整備推進を
A 交通結節点、魅力創出の場にする

独法公立甲賀病院と市立医療機関、みなくち診療所・信楽中央病院を経営統合できないか。

市長 公立甲賀病院は甲賀保健医療圏域の中枢病院として、市立各医療機関は地域の担うべき役割をもって運営している。各医療機関の相互連携を深め運営するが、統合の必要性、メリットが見込まれれば、「市地域医療審議会」の意見を伺いながら湖南市、病院と協議していく必要があると考えている。

Q 公共施設の統廃・最適化計画の推進に市内公共交通機関の積極的利活用で推進に弾みを。

総務部理事・建設部長 公共施設の最適化は施設の利用・運営状況のソフト面、老朽化や安全性などハード面の両方を評価した中で、存続、廃止、機能移転など有り方を検討する。公共交通機関の利活用も施設の将来負担軽減の視点からも有りと考える。



公立甲賀病院が甲賀保健医療圏域のさらなる中心的役割を担うことが...



白坂 萬里子



Q 防災対策のさらなる強化へ
A 大変重要で、行政として研究する

基盤的防災情報流通システムネットワークの情報共有について、改修・運用を伺う。

基盤的防災情報流通システムネットワークにつなげるためのシステム構築について伺う。

災害時応援協定を結んでいる業界団体との情報共有するシステム導入について伺う。

全小・中学校の避難所利用計画について伺う。

危機統括監 先進システムを活用するにあたっての仕組みづくりは、国・県防災情報システムの更新に係る動きなど注視し、研究・検討をしていく。応援協定は120団体あり、災害時の被害を最小限に抑え、迅速な復興活動を進める上で、話し合いの場を検討していく。避難所利用計画の策定は重要なことから支援していく。



Q コミバス・コミタクは、公共交通の原点に立ち返り、利便性の高い・サービスの水準を引き上げていく必要があるのでは。

建設部長 今後、大幅な見直しを実施する場合は、地域と連携し、地域の声を聴くなど利用者ニーズに合わせた路線改定を進めていく。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



糸目 仁樹



Q 自動運転バスの実証実験を求めます
A まずは情報収集から始めたい

Q 全国的に運転手不足がバス事業の大きな課題。昨今バスの自動運転化技術の進歩は目覚ましく、開発を牽引する群馬大学に会派で視察し、有効な技術と判断した。見積り入手済み。自動運転バス導入を前提に実証実験実施をして頂けないか。



次世代モビリティ社会実装研究センターで見た自動運転バス

建設部長 大津市・東近江市など近隣市で実績があり、情報収集から始めたい。
Q リスクの高い国との交流は考え直すべき。現在の新型コロナウイルス感染拡大とその対策による経済打撃から、中国からの観光客誘致は安全保障上、外交上もリスクが大きい。リスクの小さい台湾と姉妹提携をし、交流を深めていけないか。
市長 現時点で新たな国との姉妹提携は考えていないが、台湾との姉妹提携が本市にプラスになると判断する時は検討したい。



山中 善治



Q 市民農園の活用について
A 本市の魅力発信の一つと考える

Q 市民の若い方が、市内に増えている不耕地を安く利用でき、作り方も教えてもらいながら家庭菜園として活用されれば、今までと違った楽しさ、面白さを味わっていただくことができ、その楽しさが外部の方を呼びかけにつながるのではないかと。
軽トラックがなくても、スニーカーを履いて現地に行き、駐車場で長靴に履き替え、作業が終わればスニーカーで帰ってくる事ができる。ピクニックやハイキング感覚の市民農園の活用に対する所感を問う。

総政部長 高齢者を対象にした、いきいき農園だけでなく、若者や多世代の方が、休日に市民農園を楽しむことは自然環境豊かな中で、本市の魅力発信するシティーセールスの一つとして有効な施策と考える。



「詳しくは、農業振興課（電話 69-2192）へ」



山岡 光広



Q 公文書の作成・保存・管理の条例を
A その必要性も含め検討していく

Q 公文書は市民共有の財産という視点で、公文書の作成・管理・保存を明記した条例制定をしているが、条例の必要性も含め検討していく。
総務部長 文書取扱規程を設けマニュアル化

Q 新年度から食物アレルギー対応給食が実施される。食物アレルギーを有する児童は。食材・調理・配送・配膳などのマニュアル化は。
教育部長 食物アレルギーを起こす食物と児童は、卵213人、乳90人、小麦27人、蕎麦62人、甲殻類106人。現行の手引きを見直し、マニュアルを作成中。保護者の交流会は給食開始までに開催を検討している。

Q 市営住宅は501戸。そのほとんどは耐用年数30年以上、「浴室はあるが浴槽がない」住宅も。これでは「良好な居住環境」と言えないのではないかと。
建設部長 必ずしも良好であるとはいえない部分もあるが、そのような条件のもとで入居いただいている。計画的に設備改修を実施していく。



浴室はあるが浴槽がない住宅

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



田中 新人



Q 新型コロナウイルス感染症対応は
A 厳重な体制で、きめ細やかな対応

Q 新型コロナウイルス感染症に対する市対応は。

市長 市対策本部を設置し本部会議を踏まえ、感染症の予防や拡大を防ぐため、市民の皆様への注意喚起や、学校や園でのうがい、手洗いの徹底、市内公共施設に消毒液などを配置した。内閣総理大臣の要請を受け、市内小中学校を臨時休校。併せて放課後児童クラブも休所とした。

Q 市内医療機関の対応は。

健福部長 一般の医療機関を受診した患者は、問診等で必要性により受診調整が行われる。

Q スマート農業・本市の取り組みと課題は。

産経理事 畦畔の除草作業省力化に向け市内で自動草刈機や遠隔操作草刈機の実演会を計画。その結果導入支援を検討。

Q 柏木公民館老朽化で雨漏れ対策は。

教育理事 年度内迅速補修完了する。

Q 建て替えを含めた今後の考え方は。

教育理事 総合管理計画で検討する。



築 45 年の柏木公民館



土山 定信



Q 南海トラフ巨大地震の防災対策は
A 国土強靱化計画を作成

Q 世界的に新型コロナ対策で大変であるが、こんな時こそ南海トラフ地震対策も備えなければならぬ。対策として家具転倒防止は有効であり、どのように啓発しているのか。

危機統括監 転倒防止対策は必要であると認識している。防災チェックリストやパンフレット等で啓発している。

Q 訪問介護の方が、訪問先で家具転倒の危険について気付いた時の対応は。

健福部長 本来の業務ではないが担当の家の様子は知っており、危険箇所があれば地域の方にお声がけできたらと考えている。

Q 大型発電機を市が購入して備えておくべきだと提案したい。100kW型発電機であれば避難場所の冷暖房にも、電気炊飯器を持ち寄れば、おにぎり生産基地が作れる。

市長 防災計画において、調理不要の非常食を7万食備蓄している。大型発電機が必要となることがあれば、企業から一時借用で対応を考え

る。

おにぎりが計算上 30 分で
2400 個作れる大型発電機

山中 修平



Q 野洲川水系ダムの洪水調節機能は
A 県の青土ダムに拠るところが大

Q 野洲川ダム・青土ダムの洪水調節機能は。

建設部長 野洲川ダムは農業用水専用ダムで、多目的ダムの青土ダムが洪水調節をする。異常豪雨時は、流入量の一部を貯留し、下流の氾濫を防止するが、想定以上の豪雨には、下流市町や住民に事前通報の上、緊急放流(流入量と同量を流す)もありうる。

Q 仙川の河川改修を県に強く働きかけを。

市長 仙川は10年に一回の豪雨に対応できるように改修されているが、下流の野洲川が未整備のため、新たな改修が進まない状況であるので、関係機関に強く働きかけていく。

Q (仮称)水口北内貫線の整備促進を。

建設部長 令和2年度からの事業化の予算審議をお願いしている。2022年までに事業着手を目標に、まずは南林口から北内貫地先までを結ぶが、ゆくゆくは草津伊賀線までの延伸も検討する。



洪水調節機能が期待される青土ダム

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



橋本 律子



Q 災害緊急連絡時の要配慮の課題は
A 防災関係者間で要支援者の共有化

Q 市の緊急連絡体制の整備等現状と課題は。
危機統括監 昨年の台風15、19号の大規模停電による携帯電話が不通となったこと、また、外国籍の方への母語支援が課題であった。取り残しのない情報の共有化に努める。

Q 要配慮者の把握は、個人情報保護の適正活用が必要となるが。

健康部長 平成25年に高齢者の障害者など約8200人登録・更新し、危機管理課・福祉医療政策課で活用。今後は災害時要支援避難支援計画の作成に市内全域で一層取り組む。

Q 自主防災活動への市の支援が必要と考える。継続可能な活動支援のシステム化はどうか。

危機統括監 自主防災組織は区・自治会の約83%が実践いただいている。防災意識啓発のための出前講座でも協力体制にある。防災講演等自主防災組織のための資機材等に積極的に支援し、連携強化を図る。

Q 防災士の育成と組織の役割明確化を。
危機統括監 地域防災に参画いただいている防災士を増やし、市としてつなぎ役を果たし調整を図る。



市民による活発な防災訓練



里見 淳



Q スカレットとSKRの今後は
A 観光事業を拡充し地域に貢献する

Q 学校のICT機器整備について。

教育部長 校務支援システムを導入する。まずは現場の声を聞き、既に導入している県内市町を参考に、教員に対して過剰な負担が発生しないよう段階的に導入していく。業務改善が進み、子どもと接する時間が増える効果が期待できる。また、国が進めるギガスクール構想の実現に向け、まずは教員1人1台となるよう整備し、順次生徒1人1台となるよう整備する。さらに教員の指導スキルアップのための支援員を配置する。

Q スカレットとSKRの今後について。

副市長 新型コロナウイルスの状況により臨機応変な対応になるが、番組放送終了後に旧信楽伝統産業会館を活用した続スカレット展を行い、甲賀市観光の玄関口として、観光協会と連携をとって観光事業にも力を注ぐことにより、地域活性化に貢献していく。

機心変な対応になるが、番組放送終了後に旧信楽伝統産業会館を活用した続スカレット展を行い、甲賀市観光の玄関口として、観光協会と連携をとって観光事業にも力を注ぐことにより、地域活性化に貢献していく。



リサラーソンのラッピング列車



田中 将之



Q SDGs政策に反映させよう
A プロジェクトごとに目標定める

Q SDGsは17の目標と169のターゲットを設定し、これらを達成することで持続可能な世界を実現し、「誰一人として取り残さない」ことを目指す。だが国民への認知度は朝日新聞調査で27%、内閣府の調べでは「推進している」自治体は13・4%と低い。自治体の事務全てがSDGsに関わるのだが、自治体、職員がその認識を持っていないのではないかと。

市には総合計画をなどの計画が策定されているが、具体的にSDGsの目標と関連付けしてはどうか。また、身近なところから、職員の名刺や窓口サインに自分が担当している事業に係るSDGsのアイコンをプリントしてはどうか。

総政部長 第2次甲賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略のプロジェクトごとに対応するSDGsの目標を定める予定。アイコンも併せて検討していく。

甲賀市役所
産業経済部
課長 甲賀太郎
〒528-0005 滋賀県甲賀市水口町水口6053

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



小西喜代次



Q 市営住宅入居条件の保証人削除を
A 9月議会で条例改正提案の予定

Q 12月議会で市営住宅の入居条件から保証人規定を削除することを提案したが、改正すべきではないか。

建設部長

9月議会で保証人制度を削除する方向で検討している。

Q 水道は広域化・民営化でなく公営事業として維持管理を図るべきではないか。

上下水道部長

民営化については、現在のところ考えていない。広域化は広域連携を検討することとしている。

Q 税・料金の滞納で、分納誓約後は延滞金の加算はやめ、生活再建に向けた対応が必要ではないか。

総務部理事

申請があれば対応している。

Q 信楽町の勅旨西恩寺橋の早期拡幅を求め。

建設部長

西恩寺橋の詳細な着工時期は現段階では未定。



信楽町勅旨の西恩寺橋



竹若 茂國



Q 子どもの権利と養育費受給支援は
A 子どもの健やかな成長に必要な

Q ひとり親家庭の養育費の受給状況は。

こ政部長 約22%の低い状況と認識している。

Q R2年度の新制度「養育費等支援事業」とは。

こ政部長

離婚したひとり親家庭は、経済的に厳しい世帯が多いので、養育費取得のための法律相談、離婚公正証書等の作成費用、保証会社が払う保証料の助成を行う。

Q これまでになかった新制度で大変ありがたい。しかし家計の厳しいひとり親家庭は、パートでダブル、トリプルワークでも苦しいため、手続きに何日も休めない。養育費の立替えが必要である。他市で行っているところもある。

こ政部長

明石市は実施しており、先進地事例を参考に検討したい。

Q 子どもは、親が離婚しても親に代りはない。自由に交流できることが子どもの成長に欠くことのできない大切なものと思うが。

こ政部長

子と親の交流は、子どもの健やかな育ちに変な意義である。養育費を支払う意欲にもつながるものである。



橋本 恒典



Q 幼保・小中学校再編計画の進捗は
A 再編協議会でしっかり議論を行う

Q 幼保・小中学校再編計画(基本計画)の基本的な考え方は。

教育長

子どもたちにより良い保育・教育環境の提供を最優先に園・学校のあり方について検討を進める際の指針として示したもので、再編検討協議会で保護者や地域の皆様としっかりと議論を重ねご理解いただきながら進める。

Q 再編検討協議会の報告を受けた今後の市の取り組みは。

教育長

報告は重く受け止め、子どもたちの確かな育ちに必要施策として教育委員会十分に議論を重ね対応策を取りまとめたい。

Q 日本遺産を活かした観光振興の考えは。

市長

信楽焼

と忍者の二つの日本遺産を核として、観光の産業化を図り交流人口を増加させることで地域経済の活性化など、本市発展の原動力にしていきたい。



日本遺産構成文化財の「甲賀忍術博物館建物群」(写真は「旧岡田家」)

組合議会報告

甲賀広域行政事務組合議会

令和2年第1回甲賀広域行政組合議会定例会議が3月26日に開かれ、提出された7議案が全員賛成で可決されました。

令和2年度一般会計予算は、歳入歳出総額35億8311万8千円で、対前年度7768万円の減。このうち全体の約3割を占める衛生費は対前年度比4767万4千円減で、市指定ゴミ袋の製造・流通・販売に係る経費、し尿・ゴミ処理に要する費用など5億8399万3千円、施設の維持補修1億7476万7千円を計上。5割強を占める消防費は、対前年度比773万8千円増で、救助工作車の更新(1億3千万円)や非常用電源の更新工事(1595万円)が含まれています。

条例制定2件は、会計年度任用職員制度が導入されることに伴うもの。但し現在その対象者はいません。また老朽化した焼却施設の延命化を図るための衛生センター第二施設基幹的設備改良工事請負契約の締結は、44億1100万円で三

井E&S環境エンジニアリング(千葉県)と随意契約を結ぶもので、「なぜ随契約なのか、適正な価格かどうか」の質疑がありました。工事は令和5年完了をめざすもので、財源は国の循環型社会形成推進交付金と地方債で対応します。この他、令和元年度補正予算、条例改正2件を可決。

この後、山岡光広議員が「救急隊における新型コロナウイルス等感染症対策」沖繩の首里城消失の教訓を生かし重要文化財の防火対策「119番通報多言語サービス」について、赤祖父裕美議員が「消防力整備基本計画」について一般質問を行いました。



長寿命化の工事が計画されている焼却施設

公立甲賀病院組合議会

令和2年第1回定例会が3月26日に開かれ、「地方独立行政法人」化後、2年目を迎える予算・計画変更等4議案が上程、慎重審査の上、全議案可決されました。

地方独立行政法人公立甲賀病院定款の変更

国保診療施設として交付金を受けるための条件整備。

地方独立行政法人公立甲賀病院中期計画の一部変更の認可

数値の転記誤り等の訂正。

平成31年度公立甲賀病院一般会計補正予算(第3号)

整備した人工呼吸器等の医療機器が予算よりも約1600万円安価で入手できたため、差額を減額。

令和2年度公立甲賀病院組合一般会計予算

病院運営のための甲賀・湖南2市からの負担金約7億900万円や職員共済費、医療機器整備のための地方債などの歳入歳出予算。予算総額は約18億4400万円。4議案ともに、質疑の後、全員賛成にて可決しました。



予算化され更新予定の放射線治療システム

一般質問

小西喜代次議員・立入善治議員から、地域の中核病院としての役割や中期計画の現段階の評価、無料低額診療事業への取り組みなどについて一般質問があり、「地域医療支援病院の認定を受けながら、小児科医3名体制の維持をはじめ医療スタッフの確保を計画に应运じて行う。無料低額診療事業は2市で検討の結果、取り組む状況にはない。」との答弁がありました。

あなたとつなぐ

市議会議員紹介

vol.8

市民のみなさんに市議会議員をみぢかに感じていただきたいとの思いから、議席番号順に全議員をクローズアップしていきます。

やま なか よし はる
山 中 善 治 水口町在住



Q 議員を志したきっかけは？

自営業でお世話になり、少しでもお返しができればと。

Q 議員になって感じたことは？

それぞれの立場で一生懸命に頑張っておられる市民の姿。

Q 議員活動する中で特に意識しているところは？

どれだけ地域貢献できているかとの自問。

Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？

できる限り行動を共にし理解すること。

Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？

甲賀市北の玄関口、営農組合も含め、頑張っている八田区。

はし もと ひさ のり
橋 本 恒 典 甲賀町在住



Q 議員を志したきっかけは？

市民参画による協働のまちづくりを進め、みんなで作るふるさと甲賀の実現。

Q 議員になって感じたことは？

甲賀市には素晴らしい地域資源が多くあることと、市民の力を改めて感じた。

Q 議員活動する中で特に意識しているところは？

市や市議会の情報を伝え、市民の要望をどうしたら実現できるか考えること。

Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？

幅広い年代の皆さんと交流を深めるとともに、市民活動などに可能な限り参加。

Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？

鈴鹿の山々を源流とする野洲川の清流。南鈴鹿の山並み。満開の桜の下の草津線。

6月議会の予定

| | |
|-----------------------|----------------------|
| 6月5日 9時30分～ | 本会議(第1日) 議案上程・提案理由説明 |
| 6月15日 9時30分～ | 本会議(第2日) 議案審議 |
| 6月16日 9時30分～ | 本会議(第3日) 一般質問 |
| 6月17日 9時30分～ | 本会議(第4日) 一般質問 |
| 6月18日 9時30分～ | 本会議(第5日) 一般質問 |
| 6月19日 9時30分～ | 本会議(第6日) 一般質問 |
| 6月22・23・24・25日 9時30分～ | 委員会 |
| 6月26日 | 委員会予備日 |
| 6月30日 9時30分～ | 本会議(第7日) 最終日 |

| | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 6月 | | | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | | | | |

本会議も9時30分からの開始になりました。

カメラの



暖かい日差しが心地よく、ピッカピカの靴とランドセルが微笑ましかった。主役は今般の先行きの不安を感じているのか緊張した面持ちだったが、ご家族がこの春の日差しのように暖かく見守っておられて、シャッターを切っても良さそうなので撮った一枚。甲南町杉谷川の桜は住民の方々が1人1本づつ植えられ、こんなに綺麗で立派に育てられました。この桜のように大切に大きく育み、花開いて欲しいですね。



(写真撮影：里見 淳委員)

編集後記

▶ NHK朝の連ドラ「スカーレット」の放映が終わりました。皆さんのご感想はいかがでしたか? 日常の温かい人のつながりが丁寧に描かれていて「いつもと変わらない1日は、特別な1日」、最終回の「ぎゅう～」には共感しました。大成功に終えたことは、甲賀市にとって大きな財産となりました。関わってくださった皆様、ご苦勞様でした、ありがとうございました。▶ 新型コロナウイルスの感染拡大による色々な影響が出ています。市民の皆さんにおいては感染拡大防止にご理解ご協力ありがとうございます。▶ 今回の議会よりは、本会議と委員会の記事をぐちゃぐちゃにならないよう内容をピックアップして編集しました。▶ 議会だよりが、より市民の皆様親しまれ、よりわかりやすい記事になるよう心がけていきます。

(広報特別副委員長 里見 淳)